

D901i (S) i アプリ作成に関する注意事項

本資料では、D901i (S) 対応の i アプリを開発する上での注意事項について解説します。

1. D901i カメラ機能呼び出しにおける制限

D901i では、Camera.getCamera() メソッドを使用してカメラオブジェクトを取得する前に以下のような処理を何度か行っていると、Camera.takePicture() メソッドによるカメラ起動時に i アプリが強制終了することがあります。

- MediaImage インスタンスの取得と use() メソッド呼び出し
- Image.createImage() メソッド呼び出し
- PalettedImage.createPalettedImage() メソッド呼び出し
- ImageEncoder.getEncoder() メソッド呼び出し (“JPEG” 指定)
- MediaSound インスタンスの取得と use() メソッド呼び出し
- AudioPresenter.getAudioPresenter() メソッド呼び出し
- PhoneSystem.playSound() メソッド呼び出し

本問題により i アプリが強制終了される場合、エラーメッセージ等は表示されずそのまま i アプリ起動前の状態 (i アプリメニューの i アプリ一覧画面など) に戻ります。また、この問題が発生した後に待ち受けアプリケーションを起動させるとキー操作が一致しないなどの問題が発生することがあり、その状態から回復するには本体の電源を再投入する必要があります。

この問題を回避するには、カメラを使用する i アプリでは Camera.getCamera() メソッドを i アプリ起動後すぐ (メインクラスの start() メソッドなど、i アプリ内で上記に挙げた処理を行う前) に呼び出すようにしてください。以下に、コード記述例を示します。

```
public MyApp extends IApplication {
    public start() {
        // i アプリ起動直後の処理に以下の 2 行を追加します。
        Camera.getCamera(0);    //背面カメラ取得
        Camera.getCamera(1);    //前面カメラ取得

        //これ以降に i アプリの処理を記述するようにして下さい。
        :
        :
    }
}
```

以上